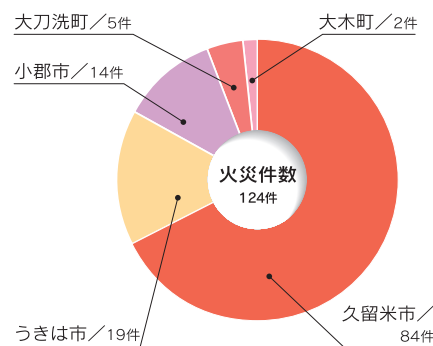


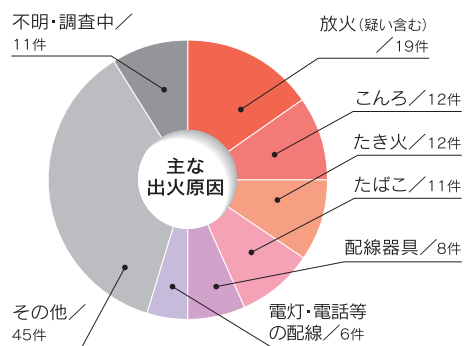
平成26年 久留米広域消防本部管内災害統計

火災概況 平成26年中における管内の火災発生件数は124件で、2.9日に1件発生しています。

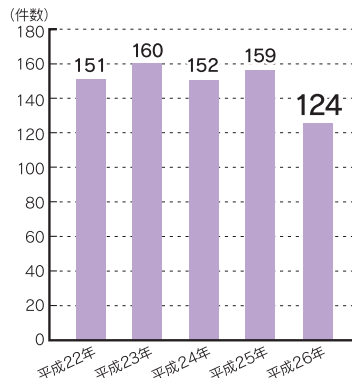
●構成市町別発生件数



●出火原因別発生件数

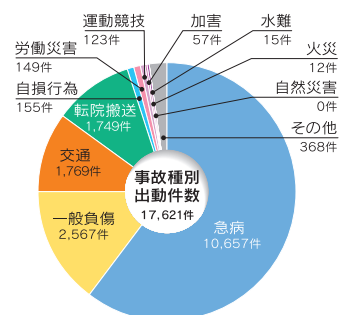


●発生件数(過去5年間)

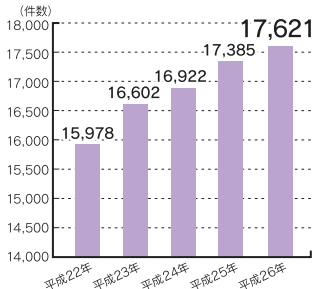


救急概況

救急出動件数は17,621件で、前年(17,385件)と比べ236件増加し、過去最高の件数となっています。

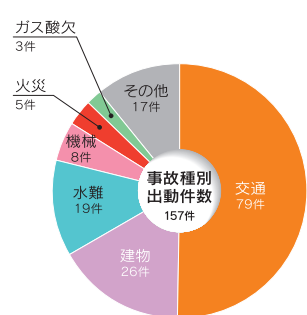


●救急出動件数(過去5年間)

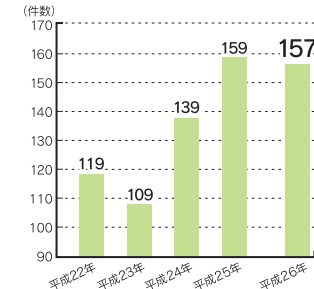


救助概況

救助出動件数は157件で、前年(159件)と比べ2件減少しています。



●救助出動件数(過去5年間)



高いところはおまかせ!! 40Mはしご車リニューアル

今年1月に、40mはしご車を更新配備しました。この車でマンションの概ね13階まで届くことになります。最新鋭の車両となったことで、高層火災でのさらなる安全・迅速な活動が可能になりました。

車両サイズ

- 全長:約10.7m
- 全高:約3.5m
- 最大地上高:40.4m
- 全幅:約2.5m
- 車両総重量:20,080kg

消防職員募集

地域住民の安全・安心を守るために働く消防士。私達と一緒に働く熱意のある人を募集します!

受験資格 採用試験の受験資格は、男女を問わず採用予定日において18歳以上27歳未満となっています。なお、詳細は8月上旬にホームページ等においてご案内いたします。

採用試験に関するお問い合わせ先 **人事研修課 0942-38-5163**

お知らせ

(一財)自治総合センターの宝くじ収益金による助成を受けて、下記の資機材を整備しました。女性(婦人)防火クラブなどの民間防火組織を対象とした防火訓練・講習会、防火・防災イベント等で活用します。

- 女性(婦人)防火クラブ 訓練用資機材/視聴覚資機材
- 幼年消防クラブ 鼓笛隊セット
- 少年消防クラブ 消火体験装置/簡易テント/活動服

災害情報をメールでお知らせ

火災情報(発生時間、場所及び消火時間)を個人の携帯にメールでお知らせするサービスを行っています。

右のQRコードを読み取り、アクセスしてください
※メールの登録は無料ですが、通信費用は受信者負担となります。
※利用状況等の影響でメール受信が遅れたり、届かない場合があります。

携帯電話登録受付用メールアドレス



災害情報や日曜祝日に診療できる病院の案内電話番号
0180-999-789

久留米広域消防本部ホームページでも災害情報や日曜祝日に診療できる病院を見ることができます。
久留米広域消防本部

ホームページアドレス
<http://www.fire-city.kurume.fukuoka.jp/fire/index.html>
消防に対するご意見・ご要望等ございましたらホームページからメールでお寄せください。

2015 vol.11 平成27年4月発行

久留米広域

消防だより

消防活動レポート 管内の各消防署では、地域と連携して様々な活動を行いました。

久留米消防署 12月15日(月)

解体建物での火災防ぎょ訓練

久留米市の協力を得て、解体予定の市営住宅にて火災防ぎょ訓練を実施しました。当日は、屋内に濃煙を焚き、実災害に即した消火、救出訓練を行い、現場経験の少ない若手隊員にとって有意義な訓練となりました。

三井消防署 11月24日(月)

自主防災組織との避難訓練

小郡交流センターにおいて、小郡市内の自主防災組織(地域住民80名)、消防団と合同で、地震災害を想定した避難訓練を行いました。住民の皆さんは、「自分たちの地域は自分たちで守る」の考えのもと、要援護者の避難支援の方法等を確認しました。

浮羽消防署 12月3日(水)

隣接消防本部との合同訓練

浮羽町の岸山隧道において、隣接する日田玖珠広域消防本部と「県境のトンネル内での多重衝突事故」を想定した訓練を実施しました。迅速な救出・救助活動が行えるよう、情報を共有し、連携の強化を図りました。

三潯消防署 11月10日(月)

防火夜回り

大木町大莞少年消防クラブ、大莞小学校関係者、地域事業所、大木町消防団、三潯消防署は毎年、春と秋の火災予防運動期間中、消防車を先頭に「火の用心、マッチ1本火事のもと」と、カチカチと拍子木を鳴り響かせ校区内の防火夜回りを行っています。

12月24日(水) 久留米市建築協同組合から緊急車両の寄贈を受けました

この車両は、ハイブリッド車をベースに製作され、緊急車両として消防本部に配備されました。管内の消防活動はもとより、大規模災害や特殊災害等が発生した場合、指揮隊支援活動を行うなど、災害現場で活躍します。

久留米広域市町村圏事務組合 久留米広域消防本部
<http://www.fire-city.kurume.fukuoka.jp/fire/index.html>

「未来の火災を消火せよ!!!」

もうひとつの戦い 火災予防

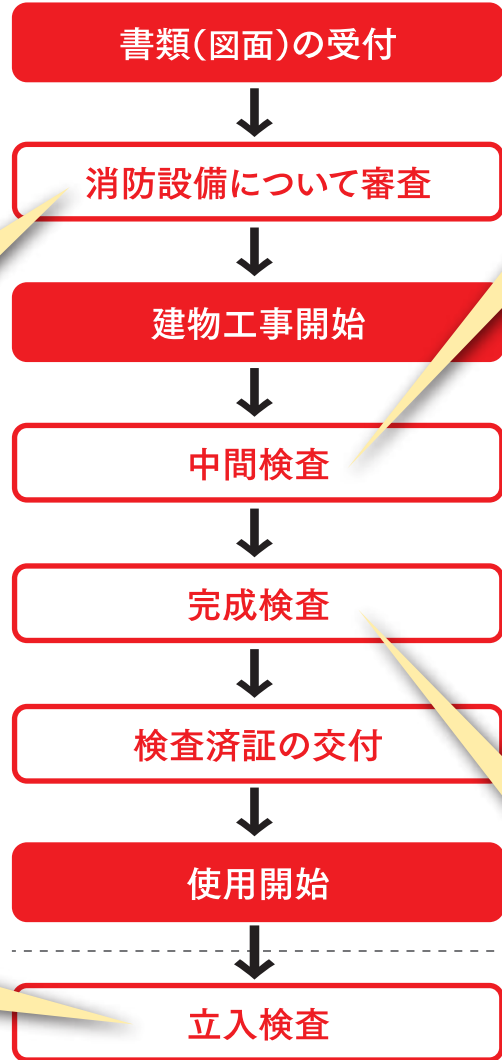


建物が
建つまで

前回、火災鎮圧後の消防署の仕事について紹介しましたが、私たちに「火災を出さない」ための仕事があります。例えば建物を新しく建てる、こんなときにも実は消防署が関係しているのです。そこで今回は、事業所などの建物が建つまでの消防署の仕事に密着します！



消防法には、消防設備等を設置する際の基準が細かく決められており、それら全てに適合しているかを審査します。



建物が完成した時には確認できない部分を現地で検査します。



建物が完成した後も、定期的に消防設備等の維持管理状況について検査をしています。



※写真は設備の一例です。

最終的に、基準どおり消防設備等が設置されているのかを現地で検査します。



防火パレードの様子

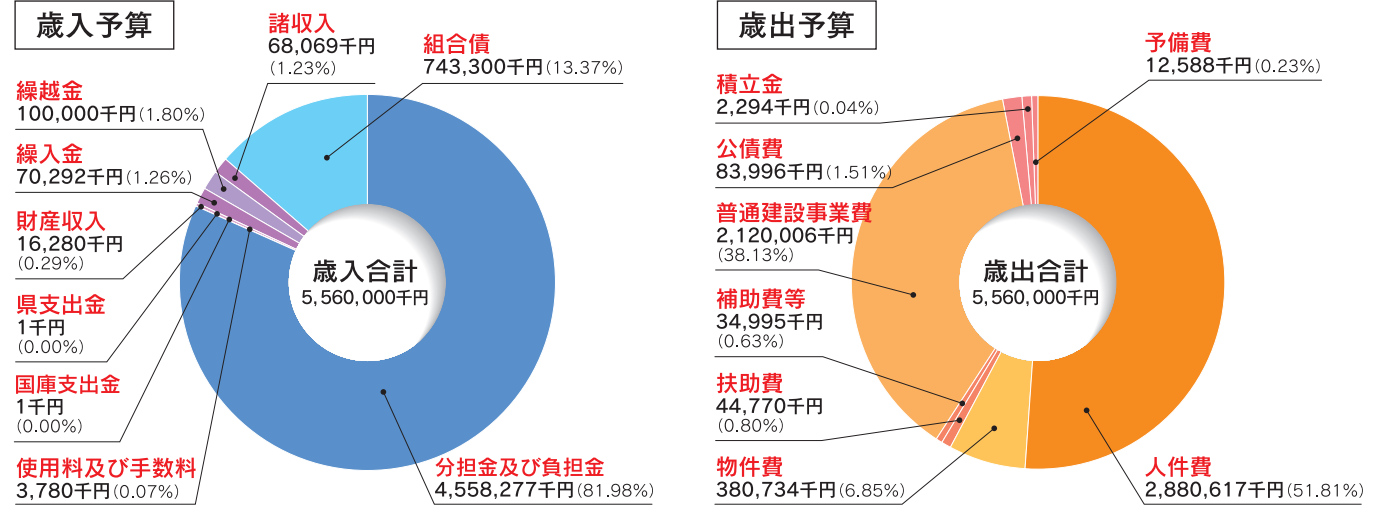
その他にも火災予防のため こんなことも...

毎年、春と秋の火災予防運動期間中に、著名人や地域の功労者を迎える「1日消防長・消防団長」をはじめ、「防火ポスターコンクール」や「一人暮らしの高齢者宅防火指導」など、住民一人ひとりの防火意識を高めてもらうため、様々な活動を行っています。



今回は、事業所などの建物が建つまでを紹介しましたが、完成した後も、立入検査や避難訓練指導などを行い火災予防に努めています。「未来の火災を消火する」ため、これからも地道な取組みを続けていきます。

平成27年度 広域消防特別会計予算



平成27年度の主な事業

- **救急救命士養成事業**(8,105千円)
救急活動のスペシャリストである救急救命士を3名養成し、管内での救急業務の充実を図ります。
- **消防資機材整備事業**(7,000千円)
複雑多様化する災害に対応するため、災害現場において使用する消防用ホースや潜水器具等の整備・更新を行います。
- **共同指令センター整備事業**(1,632,433千円)
平成28年4月の運用開始に向け、引き続き新しい通信指令システムや消防救急デジタル無線設備等の整備を進め、併せて共同指令センターの外構工事を行います。
- **消防施設整備事業**(268,765千円)
久留米消防署善導寺出張所や三瀬消防署の建替え計画に基づき、今年度は、庁舎設計委託等の契約を結び、署所の建替え準備を進めます。
- **消防車両整備事業**(218,808千円)
老朽化したポンプ車、小型タンク車、化学車、救急車、資機材搬送車など、合計9台の更新・整備を行います。

ドクターカーの試験運行を開始しました!

ドクターヘリの基地となる久留米大学病院周辺には、ヘリを利用できない運行空白地域が存在することから、その地域をカバーするため、久留米市と久留米大学病院、消防本部が協力し、平成27年1月15日よりドクターカーの試験運行を開始しました。

ドクターカーとは、現在運行している「派遣型救急ワークステーション」の救急車を活用し、119番通報で重症と判断された際に、久留米大学病院の医師及び看護師が同乗し、救急現場に駆けつけるものです。これによりヘリの運行空白地域のカバーはもちろんのこと、重症患者に対する早期治療が可能になることから救命率の向上が期待されます。



運行時間 **365日** 9時～18時

運行エリア
● 久留米消防署本署管内及び隣接する地域
● ドクターヘリ運行停止時又は他事案への出場時は、久留米市全域

派遣型救急ワークステーションとは…?

救急隊のレベルアップのため、医療機関内に救急車を待機させ、普段は病院内で実習を行いながら、救急要請に対しては、病院から現場に直行するシステムのことです。

今後は試験運行の結果を踏まえ、運行時間や運行エリア拡大を検討していきます。